

理 念

21 世紀は環境と食の世紀といわれています。農業は環境と食を守る旗手です。農業を通して、美しい郷土、きれいな日本、そして地球環境保全に努め、循環型社会形成のために貢献することが松山株式会社の使命です。

国蝶「おおむらさき」の生息している、美しい自然を起点として、地域、長野県、日本、地球規模で求められている環境対策に貢献します。

環境方針**■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。**

資源の有効活用・環境負荷の軽減・低燃費・減肥料栽培体系など、環境にやさしい農業を支援する作業機を開発します。

■地球温暖化を防ぐための施策をおこないます。

電力、上水道、ガス、灯油の使用量を削減し、二酸化炭素の排出を抑制し、省エネルギーに努めます。

製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。

雨水の活用を図り、上水道の使用量を削減します。

■リサイクルや使用抑制を図り、限りある資源を大切に使います。

紙の分別をおこない、再資源化を図ります。

再生紙の使用を徹底します。

紙の使用量を削減します。

古着・古毛布を集め、再利用をします。

■調整池の水質を浄化し富栄養化を防ぎます。**■グリーン購入を進めます。****■広大な社有林の管理に努めます。**

農薬の使用場所を限定し、社有林内では使わない。

間伐を計画的におこない、遊歩道を整備し里山を地域に開放します。

松くい虫の被害を環境にやさしい施策「樹幹注入」で防ぎ、後世に赤松林を残します。

「おおむらさき」の保全をおこない、観察会等を実施し地域に公開します。

■法を守ります。

環境関連法規や地域条例を遵守し、地域社会の環境保全に寄与します。

■化学物質を適正に管理します。

松山株式会社は、以上の方針に基づいて社員全員で活動します。

2013 年 1 月 1 日改訂

2004 年 11 月 15 日制定

松山株式会社

取締役社長 松山 信久

改訂履歴

- 2007年1月1日 ■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。・・・追加
■調整池の水質を浄化し富養化をふせぎます。・・・追加
- 2008年1月1日 ■グリーン購入を進めます。・・・追加
- 2011年1月1日 ■化学物質を適正に管理します。・・・追加
- 2012年1月1日 製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。・・・追加
- 2013年1月1日 制定者の社名から“本社工場”を削除した。

事業の概要

① 事業者名および代表者名

松山株式会社 代表取締役社長 松山 信久

② 所在地

本 社 長野県上田市塩川 5155
物流センター 長野県上田市塩川 2949
北海道営業所 北海道岩見沢市栗沢町由良 194-5
旭川出張所 北海道旭川市永山北 1 条 8 丁目 32
帯広出張所 北海道河西郡芽室町東芽室北 1 線 18 番 10
東北営業所 宮城県大崎市古川清水 3 丁目石田 24 番 11
関東営業所 栃木県栃木市大平町横堀みずほ 5-3
長野営業所 長野県上田市塩川 2949
岡山営業所 岡山県津山市綾部 1764-2
九州営業所 熊本県宇土市松山町 1134-10
南九州出張所 宮崎県都城市甲斐元町 3389-1

③ 環境保全関係の責任者・担当者連絡先

責任者 取締役総務部長 林 清弘
担当者 総務部総務課主任 森 史彦
連絡先 TEL 0268-42-7500
FAX 0268-42-7520

④ 事業の内容

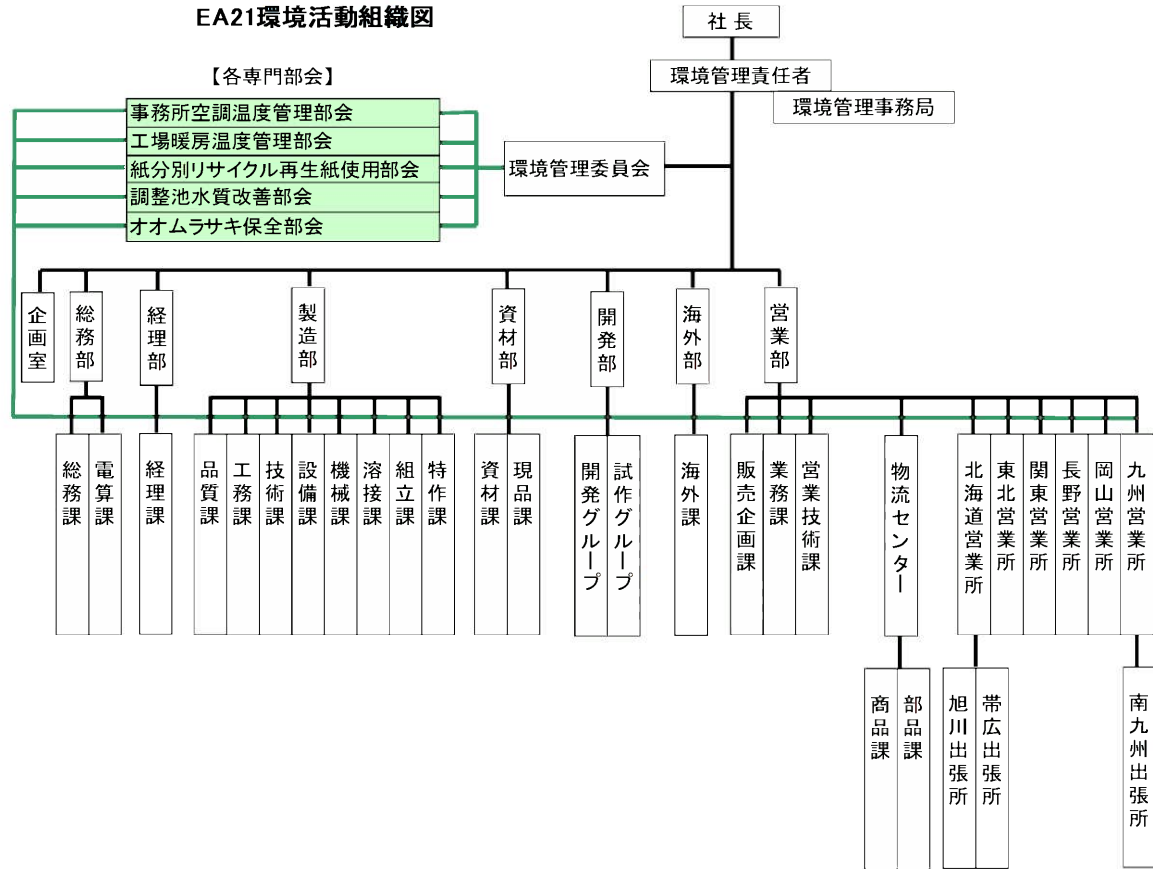
農業機械の開発、設計、製造、販売

⑤ 事業の規模

製品出荷額 206 億円
全従業員数 315 名
EA21 対象人数 315 名
本社工場延べ床面積 19,966 m²
北海道営業所 1,638 m²、旭川出張所 977 m²、帯広出張所 420 m²、
東北営業所 3,861 m²、関東営業所 1,576 m²、長野営業所・物流センター 4,391 m²、
岡山営業所 865 m²、九州営業所 5,387 m²、南九州出張所 584 m²

EA2 1 推進体制

EA21環境活動組織図



環境管理委員会

委員長	取締役社長 松山 信久
副委員長	取締役総務部長 林 清弘

事務局	総務課長 小崎 浩
	総務課係長 清水 信男
	総務課主任 森 史彦

統括	専務取締役 清水 英一
総務部	取締役総務部長 林 清弘
資材部	取締役資材部長 宮沢 彰夫
海外・営業部	取締役営業部長兼海外部長 山下 祐二
開発部	取締役開発部長 村山 生夫
経理部	取締役経理部長 大池 賢治
製造部	製造部長 臼井 明文

環境管理委員会専門部会

部会名	事務所空調温度管理部会
部会長	総務課長 小崎 浩
部会名	工場暖房温度管理部会
部会長	製造部付 海瀬 秀樹
部会名	紙分別リサイクル再生紙使用部会
部会長	開発部係長 山本 誠

部会名	調整池水質改善部会
部会長	設備課長 北村 正彦
部会名	オオムラサキ保全部会
部会長	組立課係長補佐 山浦 淳一

活動対象範囲

- ① 対象組織 本社工場、全営業所、全出張所、物流センター（全組織）
 ② レポートの対象期間 2013年1月1日～2013年12月31日

実績（全組織）

環境負荷・実績

目的項目	実施項目	単 位	2013年度 目標	2013年度 実績	2012年度
二酸化炭素排出量 の削減	電気使用量	kwh	2,281,875	2,421,362	2,362,577
		前年比	—	2%	—
	ガス使用量	t	297	309	303
		前年比	—	2%	—
	灯油使用量	kl	109	101	104.6
		前年比	—	-3%	—
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	設定無	2,581,910	2,527,601
		前年比	—	2%	—
廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量	kg	5,208	5,416	5,066
		前年比	—	7%	—
	鉄枠回収量	t	設定無	553	464
		前年比	—	19%	—
総排水量の削減	上水道使用量	t	12,798	15,359	13,443
		前年比	—	14%	—
化学物質(PRTR 制 度対象物質)の適正 管理	エチルベンゼン取扱 量	kg	5,250	5,628	5,250
		前年比	—	7%	—
	キシレン取扱量	kg	9,612	10,556	9,612
		前年比	—	10%	—
	トルエン取扱量	kg	1,499	1,550	1,499
		前年比	—	3%	—

環境目標とその実績（本社工場）

当社は以下に記載の目標を掲げて環境活動に取り組んできました。

主要な環境目標と環境負荷・実績

目的項目	実施項目	単位	2013 年度		2012 年度	2011 年度
			目標	実績	実績	実績
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量 (0.455kg-CO ₂ /Kwh)	kwh	1,989,477	2,128,670	2,072,372	2,053,493
		前年比	4% 削減	2.7%	0.9%	-5%
	ガス使用量	t	285	298	291	276
		前年比	2% 削減	2.5%	5.5%	-5.2%
	灯油使用量	t	81	70.6	82.4	76.6
		前年比	2% 削減	-14.3%	7.6%	-3%
二酸化炭素排出量	(排出係数 0.455: 中部電力 H20 年)	kg-CO ₂	-	2,256,907	2,240,780	2,181,964
		前年比	-	0.7%	2.7%	-3.9%
廃棄物排出量の削減	燃やすしかないゴミの焼却量*	kg	7,160	7,170	7,160	6,110
		前年比	維持	0.1%	17.2%	-0.7%
	紙(帳票)使用量	kg	280	280	280	280
		前年比	維持	0%	0%	0%
	紙(コピー用紙)使用量	kg	3,007	3,170	3,007	3,093
		前年比	維持	5.4%	-2.8%	-1.8%
	ウエス購入量	kg	1029	915	1,050	1,065
		前年比	2% 削減	-12.9%	-1.4%	9.2%
	鉄枠回収量	t	-	553	464	-
		前年比	-	19%	-	-
総排水量の削減	上水道使用量	t	11,212	11,887	11,441	11,007
		前年比	2% 削減	3.9%	3.9%	5%
化学物質 (PRTR 制度対象物質)の適正管理	エチルベンゼン取扱量	kg	5,250	5,628	5,250	5,548
		前年比	維持	7.2%	-5.4%	-4.6%
	キシレン取扱量	kg	9,612	10,556	9,612	9,728
		前年比	維持	9.8%	-1.2%	-4.1%
	トルエン取扱量	kg	1,499	1,550	1,499	1,505
		前年比	維持	3.4%	-0.4%	0.9%

* 長野営業所、及び物流センターの排出量込

2013年環境活動計画の内容と取組結果の評価(本社工場)

推進項目	主要な活動計画の内容	取組み結果	担当部門
環境保全型農業の支援	1資源の有効活用	施肥や播種量をトラクタの車速に合わせて自動的に調節し、肥料や種子の無駄を防ぐ車速連動システムについて関連作業機へ搭載を研究している。	開発部
	2廃棄物排出量の削減	製品を置く鉄枠について出来る限り回収を行い、再利用に努めている。	営業部
	3低燃費(CO ₂ 排出量削減)	水田秋耕うんを中心とした牽引式の高速・省エネ作業機ニプロスピードカルチAPSシリーズを製品化した。 	開発部
	4減肥料栽培体系	肥料の使用量を少なくし効果高められるように畝内施肥、深層施肥装置を組み込んだうね立深層施肥ハローを製品化した。	
	【評価】引き続き省エネルギー、省人、高速化の農業機械を開発し、国内農業力の国際競争力強化及び環境保全に貢献していきたい。		
二酸化炭素排出量の削減	1省エネパトロールの実施	3回実施し、不必要な電気の消灯等の指導をした。	製造部
	2デマンド管理	デマンド装置を設置して夏季ピーク時間調整契約電力を越えそうな時は警報が鳴り、決められた機器・電気類を停止した。7、8月は調整契約電力内に抑えたが、9月については抑えられなかった。	
	3電灯のLED化	事務所内及び工場の一部の照明をLEDに更新して消費電力を減らした。	総務部
	4再生可能エネルギーの利用	太陽光発電システム(100kw)を導入し、本社・工場にて使用している。 	総務部
	【評価】前年比2.7%の増加。5月末に太陽光発電システムの稼働が始まり、売電より優先して本社・工場用電力として使用してきたが、生産量が増加した事に伴い冒頭の結果となった。ただし生産高比として見ると12.2%の減少と大きく下がっており、太陽光発電の効果は出ていたと思われる。		
1温度管理に対する意識高揚	オリジナルポスター(4種類ずつ)を作成し、事務所内に掲示を行い社員にクールビズ・ウォームビズを呼びかけた。 	事務所空調温度管理部会	
2送風機の活用	会議室、営業部にて暖かい空気が循環するように送風機を併用した。		

ガス及び灯油使用量の削減(前年比2%減)	3ガス使用量の把握	事務所内エアコン用ガスの使用量を調べ活動の基礎データにした。	
	4遮熱塗装工事の施工	ステッカー倉庫として活用している物置について保管状態・作業環境改善のため、遮熱塗装を施した。	製造部
	【評価】2.5%の増加。事務所のGHPエアコン用のガス使用量は10%削減されている為、工場の塗装乾燥用に使っているガスが増えたと考えられる。		
	1温度管理表の運用	工場内暖房使用基準について温度管理表に従い実施した。	工場暖房温度管理部会
	2温度データの把握	工場各職場の温度データを取り、活動の基礎データとした。	
	3工場遠赤暖房機の更新	溶接課の6台を効率の良い遠赤暖房機(サーモスタート、手元スイッチ付)に更新をした。	総務部
	4シートシャッターの活用	冬場はインターロック機構を設定し、手前のシャッターが閉じなければ奥のシャッターが開かない様になっている。	製造部
	5工場トップライト遮熱塗装工事の施工	工場屋上のトップライト(天窗)の4通り分について遮熱塗料を塗装した。	総務部
	6キャンピー及び庇屋根結露防止材塗装	現品課キャンピー及び工場東側に庇屋根結露防止塗装工事を行った。	総務部
【評価】14.3%の減少。工場の遠赤暖房を最新の物に替えたため、効率が良くなったことが大きいと思われる。			
燃やすしかなないゴミの削減(前年以下)	1紙分別を行う	業者の基準に従い紙の分別をし、再生可能な物は業者の再生工場へ回して貰った。	サ紙部イ分会ク別ルリ
	2ゴミゼロ運動に参加	社員28名にて周辺公共道路のゴミ拾いを行った。(5月30日)	総務部
			
	【評価】0.1%の増加。ほとんど昨年と同じ量であった。生産量が大幅に増加しているため、活動の効果があつたのではないかと推測される。		
廃棄物の削減	1必要部数だけの出力、裏紙の再利用	裏紙用プリンターと両面用プリンターを分けて、必要に応じた使い分けをしている。	各部所
	2複合機の導入	印刷機能とファックスを兼ね備えた複合機を使用しており、ファックスはデータとして蓄積される為、必要な物のみを紙に印刷をしている。	
	【評価】枚数としては1.4%の減少、量(重さ)では5.4%の増加となった。この結果から見ると、使用している用紙が大型化していることであり、用紙選定が目的にあっているかも確認していく必要があるかもしれない。		
ウエス購入量の削減(前年比2%減)	1古着の再利用	家庭で不要になった衣類を集めウエスとして再利用をしている。	総務部
	【評価】12.9%の減少。その分家庭から古着が集まったようには見えないので、使い方も変わってきたのではないかと推測される。		
	1水質検査	定期的実施している。	製造部

調整池富栄養化防止		2調整池改修工事	調整池の壁面の亀裂が大きくなっている為、補強し、併せて堆積土砂(ヘドロ)の撤去を行った。	総務部
		【評価】調整池から出た汚泥は溶出試験を行い、土壤汚染対策法の基準に適合していた。		
総排水量の削減	上水道量の削減(前年比2%減)	1雨水利用	1,000ℓタンク2ヶの雨水を利用して植栽の水やりに用いた。	総務部
		2漏水チェック	休日等社内に人がいない状況を見計らって、水道メーターが動いていないのを確認した。	
		【評価】3.9%の増加。工場で使用する水は生産量に比例してしまうが、日常生活で使用している水は一人一人の意識に負う所が大きい。啓発活動を行っていきたい。		
グリーン購入の推進		1エコマーク・再生材商品の購入推進	エコマーク商品・グリーン購入法適合商品を優先して購入している。	総務部
		【評価】最近の商品はエコ認定や詰め替え可能な物が多くなり、選択購入しやすくなっている。		
社有林管理		1伐採木の活用	伐採した松くい虫被害木を用いて、木工作家に椅子やテーブルを作成して貰っている。また状態の悪いものは暖房として薪ストーブで燃やした。	総務部
				
		2松枯れ防止樹幹注入施工	80本の松に薬剤を注入した。	
		3遊歩道の整備	オオムラサキ観蝶会の前に社員有志にて遊歩道に木材チップを敷き直した。	
		4冬鳥観察会の実施	里山を歩こう！冬鳥観察会を2月9日開催した。日本野鳥の会の方を先生に迎え、近隣住民60名の方と一緒に散策しながら鳥を含め自然観察について教えて頂いた。	
【評価】今回初めて「冬鳥観察会」を開催した。予想を超える参加希望があり、断らざるを得なかった人がいたのが残念であった。今回の経験を次の「冬鳥観察会」につなげていきたい。				
国蝶「オオムラサキ」の生育環境保全(乱舞を夢見て)		1肥培管理の実施	植栽したエノキ、キハダ、ブツレアに肥料を施した。	オオムラサキ保全会
		2羽化個体数の調査	7月の1ヶ月間敷地内にてオオムラサキの数を調査をした。	
		3「エノキ」の実生の調査	社員有志にて社有林内の実生(みしょう)のエノキや残したいクヌギ、コナラに目印のポールを立てた。併せてエノキに絡みついたツル草を刈り取った。(7月と9月)	

	4観蝶会の実施	第7回オオムラサキ観蝶会を7月21日に実施をし周辺住民151名が来社した。		総務部
【評価】観蝶会は多くの人に来て頂き、盛況に終わった。またブログでレポートをしてくれる人達が出てきて、浸透してきたことが伺える。今後とも多くの皆様に楽しんでいただけるように努力をしていきたい。				
環境上の緊急事態への準備および対応	1複合防災訓練の実施	緊急地震情報発令を想定した避難訓練、消火訓練、環境負荷災害対応訓練を10月17日実施した。環境負荷災害訓練は「灯油・オイル・廃油・薬品の漏洩」、「塗料庫からの出火」を想定し、対応方法の検討を行った。		総務部
	2動力消防ポンプ更新	エンジンのかかりの悪い老朽化した動力ポンプの更新を行った。		
	3消火器の更新	製造年から8年以上を目安に消火器を更新した。		
	【評価】消火器訓練は全員が経験する事を目指してローテーションを組んでいる。1回でも経験したことのある人となない人では、緊急時の対応が全然違うので途切れず継続していきたい。			
団体への支援	1小学生への環境活動の紹介	工場見学に訪れた小学生に対してオオムラサキの保護や社有林の管理等、環境保全活動について説明をした。また天気の良い日には遊歩道に案内をして里山体験をしてもらった。(合計7校 372人)		総務部
	2キッズISOプログラム事業への協力	平成20年から引続き、長野県「キッズISOプログラム事業」に協力をした。		
	3長野県緑の募金へ協力	長野県「緑の募金」運動に協力をした。		
【評価】小学校では社会科の授業の中で日本の工業について学習している。学習のねらいは「日本の社会を支えている工業の現状を、身近な工場見学を通じて学び、働く人たちの仕事に対する気持ちにもふれ、自信を持って製品を作り出し、社会に貢献していることを知る」とのこと。深く子供たちの心に残る工場見学になるよう努力していきたい。				
化学物質(PRTR制度対象物質)の適正管理(前年以下)	1下塗り塗料ヒーターの設置	塗料の希釈率を下げ、ヒーターで塗料を加熱してから塗装を行い、垂れるのを防止をしている。		製造部
【評価】エチルベンゼンが前年比7.2%、キシレンが9.8%、トルエンが3.4%とそれぞれ増加した。生産量が上がれば、塗料の量も当然増えてしまう。減らしていく為には、塗装設備が大きく関わってくるので、すぐには難しいが少しずつ検討をしていきたい。				

今年以降の目標（本社工場）

2014年度も引続き「環境保全型農業」を支援する作業機の開発を行います。

電力、上下水道、ガス・灯油、ガソリン・軽油使用量の削減を図り限りある資源を大切に使用します。「燃やすしかないゴミ」の焼却量を増やさないようにします。ウエス購入量を削減します。紙を大切に使用します。製品を置いている鉄枠について出来る限り回収を行い再利用に努めます。

国蝶「オオムラサキ」の生息は自然環境と深く結びついています。社有林の手入れを学び、四季折々地域に公開できる里山として育成を図ります。

人の健康や生態系に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質について、適正に管理していることを定期的に確認します。

グリーン購入を進めます。

各削減目標は昨年度の目標と実績を考慮し次の通りとします。

2014年度以降の目標値(前年比) 年間(1~12月)

	2014年度	2015年度	2016年度
電力使用量 (kwh/年)	4%減	維持	維持
ガス使用量 (t/年)	2%減	維持	維持
灯油使用量 (kl/年)	2%減	維持	維持
燃やすしかないゴミの焼却量 (kg/年)	維持	維持	維持
紙(帳票)使用量 (kg/年)	維持	維持	維持
紙(コピー用紙)使用量 (kg/年)	維持	維持	維持
ウエス購入量 (kg/年)	2%減	2%減	2%減
上水道使用量 (t/年)	2%減	2%減	2%減
化学物質使用量 エチルベンゼン(kg/年)	維持	維持	維持
キシレン(kg/年)	維持	維持	維持
トルエン(kg/年)	維持	維持	維持
グリーン購入	グリーン購入推進		
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計		
ガソリン使用量(l/年)*	2%減	2%減	2%減
軽油使用量(l/年)*	2%減	2%減	2%減
鉄枠回収量(t)	維持	維持	維持

*2014年から設定した

2014年度の取組内容（本社工場）

2014年度は以下の取組内容にて活動を行います。

項 目	取 組 内 容
電力使用量	省エネパトロールの実施、節電対応、デマンド管理、太陽光発電の利用
ガス使用量	事務所温度管理、ウォームビズ・クールビズの実施
灯油使用量	工場温度管理、温度管理表の適時改善
燃やすしかなないゴミの焼却量	紙分別の徹底、分別実態の調査
紙（帳票）使用量	必要なもののみ出力
紙（コピー用紙）使用量	必要なもの（部数）のみ出力、裏紙の再利用
ウエス購入量	家庭用古着の再利用
上水道使用量	雨水利用、漏水のチェック
化学物質の使用量	塗料の加温化、適正管理、特作課塗装ラインの改善
グリーン購入	購入推進
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計
ガソリン・軽油の使用量	安全運転の推進
鉄枠回収量	積極的に回収を行う

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2013年度環境関連法規の順守評価

No	法規制等の名称	要求事項	順守評価
1	大気汚染防止法	VOC濃度測定	○
2	水質汚濁防止法	排出水の汚染状態の測定	○
3	浄化槽法	法定検査、点検、水質検査	○
4	廃棄物処理法	マニフェスト、契約書、保管基準、報告書の提出	○
5	PRTR法	排出量等の把握、届出	○
6	省エネルギー法	年間エネルギー量の算定	対象外
7	消防法	危険物保管、地下タンク点検	○
8	高圧ガス保安法	保安検査	○
9	自動車 Nox・PM法	粒子状物質の排出基準、大阪府流入車規制	○
10	RoHS指令	有害6物質の使用禁止	○
11	毒物及び劇物取締法	業務上取扱者規定	○

関係機関や地域周辺等から特に指摘はありませんでした。訴訟等も同様です。

2013年環境活動内容と評価及び今年以降の目標（営業所、出張所、物流センター）

- 北海道営業所
- 旭川出張所
- 帯広出張所
- 東北営業所
- 関東営業所
- 長野営業所、物流センター（同一建物）
- 岡山営業所
- 九州営業所
- 南九州出張所

以上の順で次の頁より

2013年度 北海道営業所 環境活動報告

2013年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	昨年度実績
電気(Kwh)	5523	5421	5300	4765	5242	3090	2888	2412	2699	1894	2886	3,263	45,383	51,030
水道(m ³)		21		14		28		70		82		19	234	209
LPG(m ³)	0.8	0.8	0.9	1	1	1	1	0.7	1.1	1	1	0.7	11.0	10.8
灯油(ℓ)	968.2	527	766.4	580	580	0	0	0	570	0	484	954	5,430	3,763
コピー用紙 計(kg)	0	25	0	66	6	46	6	12	52	26	6	26	272	198
コピー用紙A3(枚)	0	1000	0	1000		1000			1,000				4,000	1,000
コピー用紙A4(枚)	0		0	5000		5000			5,000	5,000		5,000	25,000	33,000
コピー用紙B4(枚)													0	0
コピー用紙B5(枚)									1,500				1,500	2,500
コピー用紙A5(枚)	0	3000	0	8000	1500	3000	1500	3000		1,500	1,500	1,500	24,500	21,000
コピー用紙 計(枚)	0	4000	0	14000	1500	9000	1500	3000	7500	6,500	1,500	6,500	55,000	57,500
二酸化炭素排出量(kg-CO2)													42,691	40,560

* 排出係数0.485(北海道電力 H23年)

2013年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	来客フロアの照明を消す(窓が多く明るいので)	明るいときは、消灯した
	不必要な電気はこまめに消す	倉庫内が出来ていなかった
	冷蔵庫室温調節を小にする	常に小にした
水道	食器、雑巾洗いは水をためて行う	常に水をためて洗った
LPG	ガス量、温度共に小にする	ガスは小(低温)にした
灯油	冬はできるだけ着込み、ストーブの温度を上げ過ぎない	ストーブの温度は22°Cにした
コピー用紙	コピー用紙の裏面使用に徹する	裏面使用に徹した

次年度以降の目標

	2014年	2015年	2016年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	45,000	44,500	44,000	蛍光灯をLEDにする
				来客フロアの照明を消す
				冷蔵庫の調整を小にする
水道(m ³)	200	200	200	雑巾、食器は水をためて洗う
LPG(m ³)	10.5	10.5	10.5	温度設定を低温にする
灯油(ℓ)	3,650	3,600	3,600	ストーブの温度を上げ過ぎない
コピー用紙(枚)	55,000	55,000	55,000	コピー用紙の裏面使用に徹する

2013年度

項目	単位	目標	実績	増減
電気	kwh	48500	45383	-6.4%
水道	m ³	200	234	17.0%
LPG	m ³	10.5	11	4.8%
灯油	ℓ	3650	5430	48.8%
コピー用紙	枚	57000	55000	-3.5%

2013年度 旭川出張所 環境活動報告

2013年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	昨年度実績	
電気(Kwh)	1,474	1,571	1,500	1,572	1,757	1,051	1,103	1,027	1,020	932	1,369	1,304	15,680	16,285	
水道(m ³)	* 地下水を使用している為、使用量不明													—	—
灯油(ℓ)	641.0	477.9	865	402	394.0	290	0	54	0	148	280	358	3,909	3,065	
コピー用紙計(kg)	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	31	125	
コピー用紙A3(枚)						1500							1,500	2,500	
コピー用紙A4(枚)						5000							5,000	15,000	
コピー用紙B4(枚)													0	5,000	
コピー用紙B5(枚)													0	0	
コピー用紙計(枚)	0	0	0	0	0	6500	0	0	0	0	0	0	6,500	22,500	
													二酸化炭素排出量(kg-CO2)	32,454	17,095

* 排出係数0.485(北海道電力 H23年)

2013年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	昼食時は、消灯する	消灯に徹した
	使わない場所の電気はこまめに消す	こまめに消した
	電源を切っても支障のないものは帰宅時に消す	コンセントで入り切りをした
水道	洗い物のお湯はためて洗うようにする	お湯をためて洗うようにした
灯油	ストーブの温度を上げないようにする	ストーブは20°Cにした
コピー用紙	印刷ミスを減らすように留意する	裏面使用に徹した

次年度以降の目標

	2014年	2015年	2016年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	15,500	15,000	14,500	蛍光灯をLEDにする 昼食時は消灯する 電気はこまめに消す
水道(m ³)				節水を心掛ける
灯油(ℓ)	3,000	2,900	2,900	ストーブの温度を上げ過ぎない
コピー用紙(枚)	20,000	20,000	20,000	裏面使用に徹する

2013年度

項目	単位	目標	実績	増減
電気	kwh	16100	15680	-2.6%
水道	m ³			
灯油	ℓ	2900	3909	34.8%
コピー用紙	枚	26000	6500	-75.0%

2013年度 帯広出張所 環境活動報告

2013年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	昨年度実績
電気(Kwh)	815	674	607	437	534	373	432	406	464	437	551	538	6268	7,034
水道(m ³)	4	4	3	4	7	7	5	4	4	4	5	4	55	52
LPG(m ³)	0.7	0.7	0.7	0.3	0.6	0.4	0.8	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	5.4	7.1
灯油(ℓ)	289	352.5	72	0	255.6	0	0	0	0	0	117.1	225	1311	1,325
コピー用紙計(kg)	0	0	20	0	0	0	0	0	0	67	0	0	87	138
コピー用紙A3(枚)										3,500			3,500	4,000
コピー用紙A4(枚)			5,000							5,000			10,000	13,500
コピー用紙B4(枚)													0	5,000
コピー用紙B5(枚)													0	
コピー用紙計(枚)	0	0	5,000	0	0	0	0	0	0	8,500	0	0	13,500	22,500
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													19,352	8,498

* 排出係数0.485(北海道電力 H23年)

2013年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	昼食時は、消灯する	昼食時は消灯した
	比較的明るいときは、照明を消す	明るいときは消すようにした
	夏は、室温28℃に心掛ける	徹した
水道	食器、雑巾洗いは水をためて行う	水をためて洗った
LPG	ガス量、温度共に小にする	温度設定を低温にし、使用した
灯油	ストーブの温度を上げ過ぎない	気温によっては、消すようにした
コピー用紙	裏面使用、カラーコピーは極力使わない	裏面コピーに徹した

次年度以降の目標

	2014年	2015年	2016年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	6,000	5,900	5,800	蛍光灯をLEDにする 昼食時は消灯する 夏は室温28℃にする
水道(m ³)	52	50	50	水をためて洗いものをする
LPG(m ³)	5.2	5	5	温度設定を低温にする
灯油(ℓ)	1300	1290	1280	ストーブの温度を上げ過ぎない
コピー用紙(枚)	20,000	20,000	20,000	裏面使用に徹する

2013年度

項目	単位	目標	実績	増減
電気	kwh	6800	6268	-7.8%
水道	m ³	50	55	10.0%
LPG	m ³	6.9	5	-21.7%
灯油	ℓ	1300	1311	0.9%
コピー用紙	枚	22000	13500	-38.6%

2013年度 東北営業所 環境活動報告

2013年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2013年目標	2012年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	4,299	4,551	5,450	6,414	7,114	4,754	3,161	3,327	2,900	2,706	3,234	3,936	51,846	43,000	42,452	122
昨年使用実績	3,500	3,817	3,785	4,479	4,654	3,471	2,793	2,629	2,595	2,651	3,471	4,607	42,452			
水道(m ³)	15	16	17	17	22	31	16	13	14	18	17	14	210	220	220	95
昨年使用実績	17	18	10	17	18	20	21	26	17	26	15	15	220			
LPG(m ³)	215	360	294	255	158	16	25	76	125	37	100	236	1,897	2,000	1,981	96
昨年使用実績	230	308	288	257	81	17	14	139	234	38	104	271	1,981			
灯油(ℓ)	251	649	305	0	0	0	0	0	0	0	280	351	1,836	2,200	2,145	86
昨年使用実績	250	395	630	0	0	0	0	0	0	0	0	470	1,745			
コピー用紙 計(kg)	0	41	0	0	41	0	0	41	0	0	82	0	204		204	
コピー用紙A3(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
コピー用紙A4(枚)		10,000			10,000			10,000			20,000		50,000		50,000	
コピー用紙B4(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
コピー用紙B5(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
コピー用紙 計(枚)	0	10,000	0	0	10,000	0	0	10,000	0	0	20,000	0	50,000	50,000	50,000	100
昨年使用実績	0	20,000	0	0	10,000	0	5,000	0	0	5,000	0	10,000	50,000			
													二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	48346	38051	127

*排出係数: 0.547(東北電力 H23年)

2013年度 取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	必要の無い電気・電源のOFF 蛍光灯の間引き 席を離れる時蛍光灯やPC画面をOFFにする	H23年(震災)からの前年比率を引かずっており、数値的にはオーバーしたが取組的には大きな問題はなかった。人目の少ない倉庫内でどれだけ節電意識をもって行動できるかが今後の課題。
水道	定期的の上水道の漏水をチェックする 洗濯の水位を低めに設定する	取組を実践し前年実績より5%削減できた。
LPG	エアコンの設定温度を厳守し使用は控えめにする。 ウォームビズ・クールビズの徹底	取組を実践し前年実績より約4%削減できた。
灯油	ストーブの使用台数を2台から1台へ減らす。 工場で作業中、場を離れる時はストーブを止める。	取組を実践し前年実績より大幅に削減できた。
コピー用紙	社内文書は両面印刷 FAX文書の裏面再利用 必要部数のみ印刷徹底	前年数値をなんとか維持できた。

次年度以降の目標

	2014年	2015年	2016年	次年度取組内容
電気(Kwh)	51,000	51,000	51,000	前年度の取組を継続
水道(m ³)	215	215	215	前年度の取組を継続
LPG(m ³)	1,941	1,910	1,910	前年度の取組を継続
灯油(ℓ)	2,102	2,059	2,020	前年度の取組を継続
コピー用紙(枚)	50,000	50,000	50,000	前年度の取組を継続

2013年度

項目	単位	目標	実績	増減
電気	kwh	43,000	51,846	20.6%
水道	m ³	220	210	-4.5%
LPG	m ³	2,000	1,897	-5.2%
灯油	ℓ	2,200	1,836	-16.5%
コピー用紙	枚	50,000	50,000	0.0%

2013年度 関東営業所 環境活動報告

2013年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2013年目標	2012年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	5,110	6,103	6,564	7,037	5,725	4,894	4,844	5,082	4,583	4,455	5,761	6,618	66,776	68,244	68,244	98
昨年使用実績	4,968	6,541	7,472	7,108	5,887	4,815	4,742	5,455	5,226	4,727	4,947	6,356	68,244			
水道(m ³)		41		40		48		50		43		49	271	323	323	
昨年使用実績		64		50		53		48		45		63	323			
LPG(kg)	541	717	670	307	88	24	244	375	408	35	197	553	4,159	5,407	5,407	77
昨年使用実績	541	914	751	458	85	22	582	421	713	118	170	632	5,407			
灯油(ℓ)		400										400	800	1,600	1,600	50
昨年使用実績	400	400									400	400	1,600			
コピー用紙 計(kg)	27	25	33	17	93	37	33	26	36	59	65	31	482		303	
コピー用紙A3(枚)	351	71	521	101	5,338	521	629	472	1,036	3,002	2,951	862	15,855			
コピー用紙A4(枚)	4,980	5,165	5,750	3,577	4,821	6,696	4,550	3,012	3,459	3,700	4,195	3,991	53,896			
コピー用紙B4(枚)	15	10	25	52	75	15	125	205	52	25	52	21	672			
コピー用紙B5(枚)	125	212	225	89	152	205	455	521	623	335	644	289	3,875			
コピー用紙 計(枚)	5,471	5,458	6,521	3,819	10,386	7,437	5,759	4,210	5,170	7,362	7,842	5,163	74,298	70,417	70,417	106
昨年使用実績	8,313	5,069	6,251	4,798	5,626	8,797	5,375	4,098	6,881	5,044	5,323	4,842	70,417			
													二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	49686	55738	89

*排出係数:0.464(東京電力 H23年)

2013年度 取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	休憩時間・使用してない場所は、こまめに消す	所員全員が意識を持って行動出来た
水道	出しっぱなしの防止	無駄な水は使用禁止が出来た
LPG	エアコン設定温度/暖房19度・冷房29度	設定温度の厳守に努めた
灯油	暖房用灯油の節約	無駄のない暖房に努めた
コピー用紙	極力、裏紙を利用する	ある程度意識を持って再利用出来た

次年度以降の目標(前年比)

	2014年	2015年	2016年	次年度取組内容
電気(Kwh)	3%削減	維持	維持	休憩時間・使用してない場所は、こまめに消す
水道(m ³)	3%削減	維持	維持	出しっぱなしの防止
LPG(kg)	3%削減	維持	維持	エアコン設定温度/暖房19度・冷房29度
灯油(ℓ)	3%削減	維持	維持	暖房用灯油の節約
コピー用紙(枚)	3%削減	維持	維持	極力、裏紙を利用する

2013年度

項目	単位	目標	実績	増減
電気	kwh	68,244	66,776	-2.2%
水道	m ³	323	271	-16.1%
LPG	kg	5,407	4,159.0	-23.1%
灯油	ℓ	1,600	800.00	-50.0%
コピー用紙	枚	70,417	74,298	5.5%

2013年度 長野営業所・物流センター 環境活動報告

2013年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)	2,640	3,081	2,673	2,612	2,937	1,945	1,789	2,042	1,888	1,882	2,468	2,651	28,608
前年実績	3169	3134	3106	3422	2877	2303	1978	2105	2003	1799	2276	2768	30940
水道(m)		453		389		574		261		80		81	1,838
前年実績		27		28		38		30		28		27	178
LPG(kg)	444	356	544	238	174	44	96	286	252	134	28	156	2,752
前年実績	302	360	422	308	152	0	34	164	370	140	0	216	2468
灯油(ℓ)	3,765	3,862	1,871	428						493.0	2,541.0	3,024.9	15,984
前年実績	3026	3669	3022	602	0	0	0	0	0	0	967	3120	14406
コピー用紙 計(kg)	32	31	58	71	91	61	71	18	12	43	71	69	628
コピー用紙A3(枚)	0		500									1,000	1,500
コピー用紙A4(枚)	7,000	4,000	8,000	7,500	10,000	5,000	5,000	2,000	500	9,500	14,500	6,500	79,500
コピー用紙B4(枚)	0		500										500
コピー用紙B5(枚)	0	500	500	2,500	2,500	2,500	2,500		500			1,500	13,000
コピー用紙A5(枚)	1,500	4,500	5,000	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	2,000	2,000	6,000	5,500	61,500
コピー用紙 計(枚)	8,500	9,000	14,500	15,000	22,500	12,500	17,500	7,000	3,000	11,500	20,500	14,500	156,000
前年実績	18500	11500	14000	26500	18000	6000	10000	13000	10000	5000	14000	8000	154500
*排出係数:0.455(中部電力 H20年)												二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	81958
												前年実績	74891

2013年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	必要の無い電気・電源のOFF	目標達成
水道	節水を心掛ける	漏水は把握していたが、地下に埋設された配管の為、場所の特定が出来ず対応に時間が掛かってしまった。
LPG	エアコン設定温度管理 ウォームビズ、クールビズの実施	暖房の消費が増えた。
灯油	ウォームビズの実施	LPG同様寒さの影響か
コピー用紙	裏面再利用 必要部数のみ出力	微増

次年度以降の目標

	2014年	2015年	2016年	次年度取組内容
電気(Kwh)	28608	28608	28608	必要の無い電気・電源のOFF
水道(m)	178	178	178	節水を心掛ける
LPG(kg)	2752	2752	2752	エアコン設定温度 ウォームビズ、クールビズの実施
灯油(ℓ)	15984	15984	15984	ウォームビズの実施
コピー用紙(枚)	156000	156000	156000	裏面再利用 必要部数のみ出力

2013年度

項目	単位	目標	実績	増減
電気	kwh	30,930	28,608	-7.5%
水道	m	177	1,838	938.4%
LPG	kg	2,460	2,752.0	11.9%
灯油	ℓ	14,405	15,984.00	11.0%
コピー用紙	枚	154,000	156,000	1.3%

2013年度 岡山営業所 環境活動報告

2013年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	昨年度実績
電気(Kwh)	1272	1271	1102	868	895	959	1105	1062	899	829	1005	1145	12412	13431
水道(m ³)	17		15		15		21		16		15		99	103
LPG(m ³)	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	2.8	4.1
灯油(ℓ)	238	157		224							40	215	874	1228
コピー用紙 計(kg)	20	0	24	0	0	27	0	20	0	0	23	0	115	129
コピー用紙A3(枚)			250			500							750	500
コピー用紙A4(枚)	5000		5000			5000		5000			5000		25000	30000
コピー用紙B4(枚)											500		500	0
コピー用紙B5(枚)													0	0
コピー用紙 計(枚)	5000	0	5250	0	0	5500	0	5000	0	0	5500	0	26250	30500
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													12189	13928

* 排出係数0.657(中国電力 H23年)

2013年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	所内の電灯、電気器具のスイッチをこまめに切る。 空調も外気に合わせて行う。	換気扇、空気清浄器、シュレッダー等 切り忘れがあり、人のいない所で 電灯が点いたままである。
水道	節水に心掛ける。	洗車機の締め忘れは、減少したように 思います。
LPG	湯沸かし器のお湯を出しっ放しにしない。	使用頻度が少ないので継続したい
灯油	暖房温度の設定も18℃を心掛ける	今年は寒い日が多く、暖房を多く使い 思うような成果が得られなかった。
コピー用紙	裏紙の使用。ペーパーレスに心掛ける。	意識は向上しているが、まだまだ伸び 代があるように思います。みんなに、 意識を持ってもらいたい。

次年度以降の目標

	2014年	2015年	2016年	次年度取組内容
電気(Kwh)	12700	12600	12500	エコアクションへの理解を深め、 節電に心掛ける
水道(m ³)	108	105	103	洗車も現場で洗うなど、出来る 出来ることは現場です。
LPG(m ³)	5	5	5	平均的に使用頻度が少なく、 現状維持で良いと思います。
灯油(ℓ)	980	950	930	エアコンだけでは寒い日が多く あり、ストーブを使いますが、 適正温度で使用する。
コピー用紙 (枚)	37000	36000	35000	必要以上にコピーしない。 研修資料等の有効活用。

2013年度

項目	単位	目標	実績	増減
電気	kwh	12,800	12,412	-3.0%
水道	m ³	110	99	-10.0%
LPG	m ³	5	2.8	-44.0%
灯油	ℓ	1,000	874.00	-12.6%
コピー用紙	枚	28,000	26,250	-6.3%

2013年度 九州営業所 環境活動報告

2013年度(1月～12月) 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	昨年実績
電気(Kwh)	4178	3735	3709	3228	2881	3192	4049	5924	5219	3970	3342	3953	47380	44765
水道(m ³)	82	104	49	51	80	26	28	28	32	30	28	33	571	751
コピー用紙(kg)	20	10	44	20	30	57	10	40	20	30	40	40	363	337
コピー用紙 A3(枚)			500			500							1000	0
コピー用紙 A4(枚)	2500	0	2500	2500		5000		2500	2500	2500	5000	5000	30000	35000
コピー用紙 A5(枚)	5000	5000	10000	5000	15000	15000	5000	15000	5000	10000	10000	10000	110000	95000
コピー用紙 B4(枚)													0	0
コピー用紙 B5(枚)			2500										2500	0
コピー用紙 計(枚)	7500	5000	15500	7500	15000	20500	5000	17500	7500	12500	15000	15000	143500	130000
LPG(m ³)	1.1	1.5	1.4	1.7	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.9	7.2	6.9
灯油(ℓ)	200	0	200										400	600
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													26013	25064

*排出係数0.525(九州電力 H23年)

2013年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	不要な電気を消す エアコンの温度管理	目標達成
水道	漏水確認	未達の為、努力必要
コピー用紙	裏紙再利用	目標達成
LPG	ガス使用を控える	目標達成
灯油	倉庫暖房の温度管理	目標達成

次年度以降の目標

	2014年	2015年	2016年	次年度取組内容
電気(Kwh)	49000	48500	48000	取組の継続
水道(m ³)	330	320	310	取組の継続
紙(枚)	145000	144500	144000	取組の継続
LPG(m ³)	14	13	12	取組の継続
灯油(ℓ)	950	900	850	取組の継続

2013年度				
項目	単位	目標	実績	増減
電気	kwh	50,000	47380	-5.2%
水道	m ³	340	571	67.9%
LPG	m ³	15	7	-52.0%
灯油	ℓ	1,000	400	-60.0%
コピー用紙	枚	150,000	143500	-4.3%

2013年度 南九州出張所 環境活動報告

2013年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年実績
電気(Kwh)	1,675	1,535	1,089	1,019	1,239	1,365	2,000	1,996	1,984	1,454	1,265	1,718	18,339	16,024
水道(m ³)		29		22		28		38		41		36	194	166
LPG(kg)	2.5	1.1	0.6	0.3	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	5.9	11.3
灯油(ℓ)		60											60	39.65
コピー用紙 計(kg)	0.0	0.0	13.2	0.0	0.0	0.0	0.0	20.4	0.0	0.0	0.0	30.1	64	91
コピー用紙A3(枚)												500	500	500
コピー用紙A4(枚)			2,500					5,000				5,000	12,500	15,000
コピー用紙A5(枚)													0	10,000
コピー用紙B4(枚)			500									500	1,000	500
コピー用紙B5(枚)													0	0
コピー用紙 計(枚)	0	0	3,000	0	0	0	0	5,000	0	5,044	0	6,000	14,000	26,000
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													12,314	12,996

*排出係数0.525(九州電力 H23年)

2013年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	所内節電 エアコンの適正温度設定	エアコンの暖房を19℃以下 冷房28℃以上にした 事務所のポイント節電を実施した
水道	節水	水利用時の節水意識が向上した (洗濯、洗車等)
LPG	無駄な使用を控える	必要な時のみ使用した
灯油	冬場、エアコンと併用した利用	灯油ストーブの活用を減らす必要がある
コピー用紙	裏紙再利用 コピーの必要最小限	裏紙利用の定着、無駄なコピーが減った

次年度以降の目標

	2014年	2015年	2016年	次年度取組内容
電気(Kwh)	18,339	18,339	18,339	取組の継続
水道(m ³)	194	194	194	取組の継続
LPG(kg)	5.9	5.9	5.9	取組の継続
灯油(ℓ)	60	60	60	取組の継続
コピー用紙(枚)	6,000	6,000	6,000	取組の継続

2013年度

項目	単位	目標	実績	増減
電気	kwh	16,024	18,339	14.4%
水道	m ³	166	194	16.9%
LPG	kg	11	5.9	-47.8%
灯油	ℓ	40	60.00	50.0%
コピー用紙	枚	26,000	14,000	-46.2%

代表者による全体の評価

弊社の社業であります農業機械の開発から見ていきますと、環境保全型農業を支援する製品化が少しずつ実を結びうれしく思います。しかし、新製品の開発には実証試験等に時間がかかることは理解しておりますが、さらに開発スピードを上げて省資源化に貢献して欲しいと思います。

製造関連では生産量が増え、その為エネルギー使用量が増えています。生産高比を見ると減少していますが、農業への影響が大きい地球温暖化ですが、その防止には化石燃料の消費量を減らすことが重要です。生産量が増えても使用量を減らす努力が大切かと思われます。それには今までのやり方では難しい面がありますので、発想の転換や新技術の学習に努め、大胆に取り入れる必要があるのではないかと考えます。また、エネルギーの中でも電力について振り返りますと昨年5月より始まった太陽光発電の設置は、期を得て効果が大きかったと思います。電力会社との契約は、環境に深くかかわる農業に接する社業ゆえ余剰電力のみを売電と致しました。

以上は本社・工場についてですが、それ以外の組織では全国の拠点には営業拠点になりますので、電気・ガス・水を多量に使う業態ではありません。活動を始めたばかりですので、当面は使用量の低減、発生量の低減を主眼に置いた活動になります。今後の課題として、営業車両の効率的運用を図り燃料消費の大幅な低減に期待したいと思います。

最後になりますが、社有林の有効活用としてバードウォッチングやおおむらさき観蝶会を開催しております。これらの自然環境保全活動が認知(認識)されつつありますが、識者から、「適度な・程好い環境保護ができています」との評価はことのほかうれしく感じております。さらに学習を積んでバランスのとれた里山の自然をめざしてほしいと思います。